

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月10日(13:10 ~ 13:40)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	0人	0人	10人

前回の改善計画	<p>・本人だけでなく家族や友人など、より多くの方から情報をいただけるよう努力する。本人からは折にふれ、家族への思い、友人への思いを語っていただけるような場を提供する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・新規利用者ができるだけ早く馴染めるよう話題や席の配置を工夫した。家族には一日の様子を、連絡帳の紙面上だけではなく送迎時に細やかに具体的に伝えた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	2	3	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	5	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10	0	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	3	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・あゆ美が楽しく安全な場所であるということを認識していただけるよう気配りし、声掛けも積極的に行っている。</p> <p>・職員間の情報共有は年々できるようになってきている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・疑問に感じるものがあっても業務に追われ、確認が後回しになってしまうことがあった。</p> <p>・コロナ禍の為、退院前カンファレンスが十分にできず、病院からの情報と実際の状態が違うことがあり、対応に戸惑ったことがあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・初期の情報収集と丁寧なアセスメントにより正確なニーズを把握する。様々な方法で職員全員が情報を共有し、支援できる体制を強固にする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月10日 (13:10 ~ 13:40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	1人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いを日常的にくみ取り、真摯に向かい合った関わりを持ちたい。(利用者の思いや願いが具体的な) 行事にまで至らなくてもよい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いを傾聴し、その時々「～したい」をできる限り実現してきた。できない場合は代替案を出すなどし、利用者の思いを断ち切ることなく将来の目標につなげることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	7	1	2	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	3	0	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	5	3	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	4	3	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「散歩がしたい。」「ドライブがしたい。」「たこ焼きが食べたい。」など具体的で簡単な要望には比較的よく応えていると思う。 ・自分の思いをうまく伝えることができない利用者に対しても、話をゆっくり傾聴することができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の「～したい」に対しうまく対応できず、「いつかしましょう」と言って逃げてしまったこともあった。 ・コロナ禍の為、安全面を考えてしまった結果実行できないことが何度もあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランや小規模多機能型居宅介護計画書の目標を意識し、『できないこと』よりも『できたこと』や『できそうなこと』に焦点を絞った関わりをする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月10日（13:10～13:40）
3. 日常生活の支援	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6人	4人	0人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報の共有を徹底し、職員全員が同条件で利用者に関わることによって効率よく作業が進む。空いた時間で個別対応やコミュニケーションを行うことができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・病状や感情の些細な変化に気付き、自己判断せず看護師や管理者に報告するという習慣づけができた。 ・常に『情報共有』と言う意識づけができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄と		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	7	1	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	10	0	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	6	1	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	10	0	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	8	2	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境をこれまでの暮らしからできるだけ変化させることのないよう配慮している。 ・個別対応は、個別と言うだけでなくその時々に合わせて対応ができています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」をあまり把握できていない。把握しても、それを施設で活かすできていないと感じる。 ・申し送りノートだけでは十分に情報共有ができないと感じることがある。 ・勤務形態が様々なのでどれだけ情報共有しても共有した情報にタイムラグが生じる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>連絡事項や新しく得られた情報は職員間で素早く正確に共有する。内容によっては申し送りノートだけでなく日誌や送迎表などにも記載し、職員の目に留まりやすいよう工夫する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月13日 (16:15 ~ 16:45)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	3人	3人	1人	10人

前回の改善計画
・利用者の『日常生活』をより充実させるため、一日の流れや業務内容を見直し、利用者に寄り添う時間を少しでも多く取るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者だけでなく家族や近隣の方ともコミュニケーションを取ることで「以前の暮らし方」をより深く把握することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	4	1	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	4	4	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	6	1	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	4	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・コロナ禍のため近隣の方と積極的に関わることはしていないが、送迎時や訪問時に挨拶をするなど必ずコミュニケーションは取るようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・仕方がない状況であるが外出行事や季節の行事がほとんど行えなかった。 ・コロナ以前に比べ、地域との関わりが激減した。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・コロナ禍で廃止になった社会資源は数多くあるが、コロナ禍だからこそ生まれた社会資源も少なからずあるのではないかと。利用者にとってより住み慣れた地域で、より快適に生活してゆくための社会資源を見落としていないか、日々細やかな情報収集を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月13日 (16:15 ~ 16:45)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8人	2人	0人	0人	10人

前回の改善計画

・職員の対応に差異を失くし、全ての職員に対し信頼と安心を感じていただけるよう努力する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・全ての職員が柔軟な対応、柔軟な支援を心掛けてはいるが、職員が本来持つ資質や性格により対応に多少の差が出てしまう。しかしながらそれによるケアへの影響は大きくはない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	3	1	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	0	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9	1	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	0	1	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・本人や家族に寄り添い、送迎時間や急な変更などできる限り柔軟な対応ができていると思う。
・ただただ利用者側の言いなりに対応するのではなく、状況や利用者の状態に合わせて最適なケアが柔軟に提供できていると思う。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・時間内に業務を終わらせなければという焦りから、職員主体の動きになってしまうことがあった。
・利用状況からニーズに応じきれない時があった (代替案は提案した)。
・本人の思いをくみ取る前に家族の介護負担軽減にだけ目を向けてしまうことがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・できる限り柔軟な対応は行うがその要望が利用者の『自立支援』を妨げる場合は断り、対応できない旨を納得していただく説明をする知識も必要である。柔軟な対応・支援を正しく行うため、全職員の介護知識の熟達を目指したい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月13日 (16:15 ~ 16:45)
6. 連携・協働	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	1人	5人	1人	10人

前回の改善計画	<p>・困りごとを相談に来られる方に的確な助言ができるよう、すべての職員が日頃から最新情報や幅広い知識を所有しておく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・職員同士切磋琢磨し、情報共有や知識の授受などがスムーズに行えるようになってきている。施設内研修は少人数で複数回に分けて行っている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	3	3	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	3	4	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	2	4	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	7	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・包括支援センター、民生委員、訪問看護師などとの必要な関わりはコロナ禍に関係なく継続している。 ・来客は減ったがゼロというわけではない。相談に来られた方に対しては時間問わず誠意を持って対応した (見学は必要最小限にとどめている。)</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・コロナ禍における『地域との協働の在り方』を考えさせられたが結局何もできなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・これまで通り他事業所や包括支援センターなどとの連携や協働を行う。コロナ禍での経験を活かし時間短縮やZOOMツール等の活用も意識する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月15日 (15:20 ~ 15:50)
7. 運営	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	3人	2人	3人	10人

前回の改善計画	<p>・包括支援センターや他事業所と情報交換する中で役立つ内容や助言をいただいたり、それを実行した結果を報告したりと地域の施設代表として交流していきたい。結果的に恒久的な『運営』につながるとよい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・他所からの助言は素直に受け取り、現場で役立てることができている。苦情やヒヤリハットは職員全員で速やかに情報共有し、対応策を話し合うことができている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	1	4	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	4	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	1	4	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・小さなミスであっても、それが積み重なると『運営』に影響してくるという意識付けができた。 ・物々しく考えず、働いているこの施設が評判良く『運営』していけるよう、自分ができることを精一杯頑張っている。</p>	

とり

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・現場についての意見は言いやすいが、『運営』や『地域』といったものは大きすぎてイメージが湧かず、意見も思いつかない。 ・もし気づきがあったとしても一職員なので意見として提案しにくい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・苦情やヒヤリハットの速やかな情報共有、職員間での意見交換、気づきの助言など地道で基本的なことであるがあらためて徹底する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月15日 (15:20 ~ 15:50)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	1人	3人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の知識や意欲の向上につながるよう研修や勉強会の場は多く持ちたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修や委員会、勉強会は例年通り開催できたが、世情を鑑み外部研修への参加は極力控えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	1	3	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	7	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	4	5	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	5		1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議、各委員会は例年通り定期的で開催されている(多少の時短は意識した)。 ・ヒヤリハット報告書はこまめに残しており、職員間で内容の共有もできている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップに対し、意欲的になれない。勉強する時間がない。 ・リスクマネジメントを勉強したが、現場に入ると意識しながら動くのは難しい。 ・自分から率先して研修に参加する意欲を見せたり、行きたい研修を検索したりはしていない。 ・時間がないため現場優先になり、研修や勉強会は二の次に考えてしまう。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を考慮し、外部研修にこだわらない。内部研修や委員会をより充実させる努力をしたい。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日 (15:20 ~ 15:50)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	2人	0人	0人	10人

前回の改善計画	<p>・プライバシーに関しては職員一人ひとりが意識し配慮する必要がある。前年度に引き続き記録や申し送りは周囲に注意し行うように心がける。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・一人でも配慮に欠ける職員がいたり、たった一言で信頼関係が崩れたり、思ってもいなかったことが苦情につながったりといった事柄があった。常に気を引き締め職員一人一人の意識付けが大切であると改めて認識した。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	0	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	7	3	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	0	0	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	0	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・スピーチロックには常に気を付けている。スピーチロックに対し職員間で注意し合ったりができている。</p> <p>・ホワイトボードの記載はイニシャル表記している。</p> <p>・できる限り個別対応し、プライバシーを守っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・とっさの声掛け時にはスピーチロックになってしまう。</p> <p>・早く情報共有を、との思いから他利用者のいるホールでイニシャルを使わずに名前を伝えてしまったことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・不適切な発言や行動をとってしまった職員にその場で注意し合う、助言する、ということを徹底したい。職員一人一人が自分の言動に責任を持ってケアに当たるといった意識付けが大切である。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 キタカワ	代表者	北川 博康	法人・事業所の特徴	『生活の継続性の尊重』、『残存能力の活用』、『自己決定の尊重』の三つの理念を共有し、利用者本位の視点を大切にしたいきめ細やかな支援に努めている。同一建屋内に併設する居宅介護支援事業所やデイサービスセンターとは、合同で納涼祭や敬老会、運動会、餅つき等を開催し、地域の方々との交流を深める場にもなっている。又、隣接する特別養護老人ホームとは行事だけではなく、避難訓練や災害時の避難場所としても協力体制を整えている。 食事面では、栄養士による栄養管理の行き届いたバランスの良い食事を3食共に提供出来るだけでなく、毎月一回のグルメランチでは、ご当地の有名な食べ物が再現され好評を得ている。
事業所名	小規模多機能ホーム あゆ美	管理者	竹中 未喜江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	1人	1人	1人	1人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各項目の改善計画を職員それぞれが意識し、先輩後輩関係なく意見交換や助言ができる職場作りを目指したい。	意見交換は常日頃からできている。各項目は職員一人一人が自分の問題であると意識し、理解しないといけない。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で職員の結束力が高まったように感じる。 ・(コロナ禍は)良くも悪くも内部(施設内の環境やしつらえ)や自分たちの在り方に目を向けるいい機会になったのではないかな。 	自己評価の内容を一時的なものとしてとらえるのではなく日頃から常に意識しつつ業務に取り組む。

B. 事業所の しつらえ・環境	レクリエーションに関しては外出行事にこだわらず、今の時世で自分たちが出来ることを全力で行いたい。職員は施設内外問わず、『命を守る行動』をしっかりと意識して日常生活を送る。	屋内で出来る行事を工夫した。季節に合った作品や貼り絵などを製作する折、季節の話題が出たり、昔の行事ごとの話をしたりと利用者との会話が弾み、楽しい時間になっていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出できない分、中で行う季節行事はよく工夫されている。 ・『季節』を意識した食事メニューや行事はとても大切だ。これからも継続してほしい。 	引き続き、屋内にいても季節を感じられるよう行事や食事メニューを工夫する。また、時世を鑑み 消毒や換気に気を付け、清潔で安心できる環境作りを心掛けたい。
C. 事業所と地域のか かわり	『あゆ美だより』がよりよい発信源となるよう、常に内容を精査検討し、職員からもユニークな議題を提案してもらえよう事業所内で働きかける。	『あゆ美だより』は明るく楽しい紙面を意識して作成している。外出行事がない分、屋内行事の細やかな工夫点を紹介するよう努力している。	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆ美だよりは毎月楽しみにしている。 ・あゆ美だよりを通し、活動内容や職員の熱意がよく伝わってくる。 	自分たちのできる範囲で情報発信に努める。
D. 地域に出向いて本 人の暮らしを支える 取組み	マスク手袋消毒薬必携での訪問、少人数での散歩など感染症対策を行った上でできるだけ地域へは出かけていきたい。コロナ禍ではあるが、できるだけ利用者の日常生活の流れを変えることなく継続させたい。	少人数でのドライブや車窓からの花見など可能な限りの外出はできた。新しい道や店の発見など楽しく刺激的な体験ができたと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域が変わっていく様子、変わらない街並み、どちらも見守っていたいものだ。できる範囲で外には連れ出してあげてほしい。 	屋内行事を充実させるだけでなく、やはりできる限り外出し、地域との関わりを途切れさせないよう努力する。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	他局面から事業所のあり方が見えるよう議題を多様化したり、多くの家族にリアルタイムで会議に参加見学してもらえようオンラインでの開催も検討したい。	会議そのものを縮小し(参加人数の制限と時間短縮)開催した。あらかじめ書面化、視覚化するなど効率を重視した年度となった。	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中で効率よく意見を述べる訓練ができた。 ・オンラインもいいがやはり施設に足を運び、現場の空気を感じた上で推進委員として意見を述べたい(毎回でなくてもよい)。 	最近の運営推進会議は活動や実績の報告の場になりがちなので、地域課題や地域の高齢者についての話題が出るような会議の進行も検討したい。
F. 事業所の 防災・災害対策	現在行っている火災や水害に対する避難訓練だけでなく、地震や不審者に対する防災計画も(紙面上だけではなく)具体的に検討したい。	定期的な避難訓練は行えたが、利用者が日によって違うため、日頃からシミュレーションしておかないと、という意見が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練一つ取っても気を遣うご時世だ。職員はよく努力している。 ・非常食や飲料水の確保もしてあり、安心だ。 	避難訓練は定期的に行う。曜日や時間帯によって留意すべき点は気付きとして職員間で情報共有しておく。